



44号 令和6年7月18日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



ええたま いっちょう!

1学期の終業式で阿賀っ子に伝える予定の話をご紹介します。

皆さんのこの1学期に自分の伸びたところ・頑張ったところはどんなことですか？

「ない」ということは絶対にありません。1学期、授業が70日間もあったのですから、あゆみ渡しの日には、担任の先生方がおうちの方に、皆さん1人1人の1学期に頑張ったところについてお話をします。必ずお伝えすることになっています。それをおうちの人から聞いて自信に変えてほしいと思います。

さて、明日から楽しみにしていた夏休みが始まりますね。43日間あります。みなさんは、どんな気持ちで過ごしますか？私は、皆さんには自分の命のあることに感謝して、自分の命を正しく、精一杯生きよう。そんな気持ちで過ごしてほしいですね。

正しく生きるために、私がいつも自分に言い聞かせている言葉は・・・。

「自分のしたことは善いことも悪いことも必ず自分に返ってくる」という言葉。

精一杯生きるために、私自身、もつようにしていることは・・・。

目標です。夢です。「・・・のようになる!」と言ってもよいかもしれません。

そうすると、不思議と精一杯生きようという気になってきます。やる気が湧いてきます。

参考にしてもらえたらと思います。

正しく、精一杯、この夏休みを生きてほしい皆さんに応援の気持ちを含めて、絵本を読みたいと思います。

今日の絵本は、くすのきしげのり作 吉田ひさのり絵 「ええたま いっちょう!」です。

<あらすじ>

「きょうも せんせいに おこられた。」ついてない。帰り道、道ばたに落ちていたどろだらけのボール。「それっ!」思いっきりけとばしてやった。そのとき、ふとお父さんの「落とし物は交番に届けるんやで」の言葉が頭をよぎり、思い直して、そのボールを交番まで・・・。「こんなきたないボール、とどけたところで・・・。」しかし、おまわりさんからは思いかけず「ありがとう」の言葉。ぼくはおまわりさんにお父さんの教えのことを話したが、つい口に出てしまった「もう、おらんけどな・・・」。

この後、おまわりさんに誘われるままキャッチボールをしながら・・・、おまわりさんもぼくと同じ境遇だったことを知る。「どうして警察官になったの?」「ああ、強く、正しく、優しく。世のため。人のため。そして、おかあちゃんのためや。」「・・・」「ぼくもおまわりさんみたいな警察官になれるかなあ・・・?」「きみならなれる。ぜったいや!」

ぼくもおかあさんに喜んでもらえる、おまわりさんのような警察官になりたい!

そう思いながら、おまわりさんのグローブめがけてカー杯ボールを投げた。

パシッ!

「よし、『ええたま いっちょう』や!」